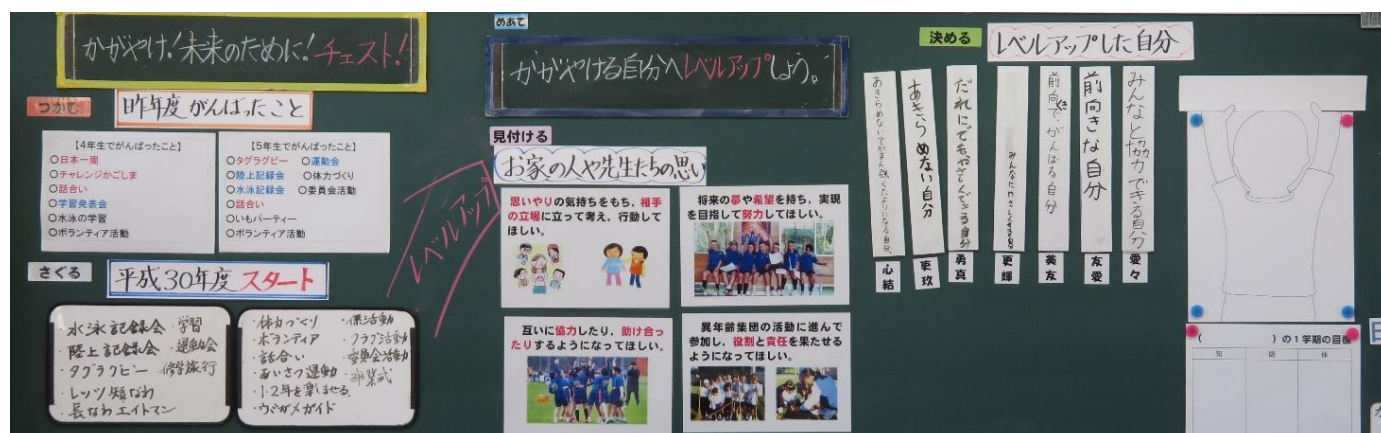


～題材：かがやけ！未来のために！チェスト！～

【ねらい】

自分や周りの人の学校生活への希望や願いをもとに、自分なりのめあてをもって学校生活を送ることができるようにする。



【学習過程（略案）】

4月27日（金）5校時

過程	主な学習活動	指導上の留意点
つかむ	1 昨年までの自分たちの成長について話し合う。 〔・タグラグビーをがんばったよ。 ・ボランティア活動をがんばった。〕	○ 事前のアンケート調査を基にこれまでのがんばりや成長が想起できるようにする。
さぐる	2 新学年での一年間の生活について話し合う。 〔・5年生は、陸上記録会や水泳記録会があるね。 ・6年生は、小学校最後一年だ。松ヶ浦の伝統をしっかりと引き継ごう。〕 めあて かがやける自分へレベルアップしよう！	○ 課題を取り上げるのではなく、昨年度よりもよりよい自分に成長していく気持ちを高められるように発問する。
見つける	3 教師や保護者のアンケート結果を基に自分が目指す姿について話し合う。 (1) 教師や保護者の思いや願いを聞く。	○ キャリア教育に変わるアンケートを事前に集計し、教師と保護者の同意見を提示する。 ○ 保護者にゲストとして、子どもに頑張ってもらいたいことを直接、話をしてもらう。
見つける	(2) レベルアップした自分を短冊に書く。 (3) 自分の考えを発表する。 (4) 友だちの考えのよさを見つけたり、アドバイスしたりする。	○ 短冊カードを準備しておく。 ○ 自他の考えを認めることができた子どもを称賛し価値付けるようにする。
決める	4 レベルアップした自分に近づくための、今年のめあてを意思決定する。 (1) 今年のめあてを考えて、短冊に書く。 (2) 一学期のめあてを考えて、用紙に書く。	○ 自分に合っためあてを意思決定できるように指導する。 ○ 一学期のめあては、知徳体で具体的に設定できるように指導する。

指導のワンポイント

☆ 【見つける】 教師や保護者の思いを伝える工夫

○ 保護者に事前にお願ひし、我が子に対して直接、話をしてもらった。

- ・「夢や希望をもって頑張ってもらいたい。」
- ・「親として応援している。」
- ・「感謝の気持ちをもってほしい。」
- ・「相手の立場に立って思いやりの気持ちを大切にしてほしい。」



《授業中の子どもたちの様子》

- ・子どもたちは、親の気持ちを直接聞くことで、「がんばろう」というように心に響いたようだった。
- ・真剣に聞く態度から伝わってきた。
- ・親の話を聞いて拍手がおきた。



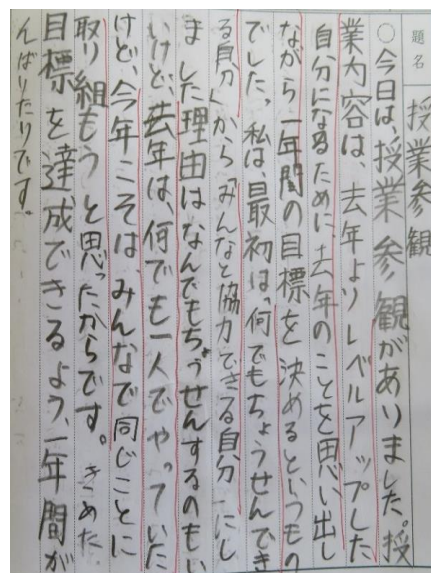
【写真②：保護者からの話】

☆ 【決める】 レベルアップした自分へ（意思決定）での子どもの言葉

- ・「去年までは、一人で取り組むことが多かったけど、今年は、みんなと協力して楽しく取り組みたい。」
- ・「小学校最後の年なのでたくさん思い出を作りたい。」
- ・「あきらめず、がまんづよく、頼りになる自分になりたい。」
- ・「これからあるいろいろな活動を6年生として頑張ろう。」



【写真③：意思決定の様子】



【資料①：子どもの日記より】